

## Contents

- 2 ..... 年頭ごあいさつ  
第42回農業委員会情報紙コンクール  
福島県農業会議会長賞最優秀賞及び福島県知事賞受賞
- 3 ..... Agri Interview、Topics
- 4 ..... News
- 5 ..... 農地流動化情報、農業者年金
- 6 ..... 地区だより、今号の表紙から



## 年頭ごあいさつ


 いわき市農業委員会  
会長 蛭田元起

令和8年の新春をお健やかに  
お迎えのこととお慶び申し上げ  
ます。

今や私たちは近年の気候変動  
と無関係ではいられなくなっ  
ています。身近にある農業も多  
大な影響を被っていることは、皆  
も実感されていることと思いま  
す。昨年は特に記録的な猛暑と  
それに伴う水不足により、農作物  
の品質や収量の低下が懸念され  
ました。加えて米不足です。国・  
生産者・流通業者・消費者を巻き  
込んだいわゆる「令和のコメ騒  
動」。令和7年産米が開始しても  
騒動は収まっていけないような気  
がしています。

米不足だからということでは  
ないのですが、食料安定供給のた  
め国が力を入れている農業政策  
の一つが「地域計画」です。農地  
の将来を見つめ、地域の農地をだ

れが利活用し、農地をどのように  
まとめていくのかについて、「地  
区との話し合い」を各地で開催し  
て、昨年度市とともに市内の12  
9地区においてそれぞれの地区  
の地域計画を策定したところで  
す。地域計画の実行性を高める  
ため、本年も「地区との話し合い」  
を継続し、地域のより綿密な意向  
把握に努めてまいります。

本委員会は農地の所有権移転  
や転用等の許認可業務のほか、農  
地の集積、遊休農地の解消、新規  
参入の促進等について委員と職  
員が力を合わせて活動しており  
ます。また、農業者の代表として、  
農業関係機関や団体との連携を  
さらに強化し、地域の皆様ととも  
に農業の持続的発展のため全力  
で取り組んでいく所存です。

昨年7月以来農業委員が1名  
欠員になっていたのですが、昨年  
11月より勿来地区の加茂直雅氏  
が新委員として加わることにな  
りました。今後の活躍を大いに  
期待しております。

本年も皆様には幸多き年とな  
りますよう、心から祈念申し上  
げ、新年のあいさつとさせていただきます。

## いわき市農業委員会だより

## 「TAGAYASU」No.203が

## 第42回農業委員会情報紙コンクール

## 福島県農業会議会長賞最優秀賞・福島県知事賞受賞

昨年10月9日(木)、一般社団法人  
福島県農業会議主催の第42回農業委  
員会情報紙コンクール審査会が福島  
県農業会議役員室で開かれ、いわき  
市農業委員会発行の「いわき市農業  
委員会だよりTAGAYASU No.  
203」が福島県農業会議会長賞最  
優秀賞と福島県知事賞に選ばれまし  
た。

いわき市農業委員会だよりの最優  
秀賞と県知事賞のダブル受賞は、第  
1回コンクールの開始以降、第22回

(平成17年)～第24回(平成19年)、第  
27回(平成22年)～第29回(平成24  
年)、第39回(令和4年)、第41回(令  
和6年)と合計8回あり、今回の第  
42回を含め、県内最多9回目のダブ  
ル受賞となりました。また、今回は、  
リニューアルしたいわき市農業委員  
会だより「TAGAYASU」での初  
の受賞となりました。

なお、昨年10月10日(金)発行の福  
島民友新聞にも、今回の受賞に関す  
る記事が掲載されています。

TAGAYASU

No.203  
JAN. 2025

いわき市農業委員会だより



## Contents

- 2.....年頭ごあいさつ
- 3.....Agri Interview・Topics
- 4.....News
- 5.....農地活用化情報・農業青年会
- 6.....地区だより、今号の表紙から







## Agri Interview

アグリインタビュー

## 日本梨づくり100年の伝統を引継ぎ、 日本梨の魅力を世界に広めていきたい

平上平窪

根本大我さん(37歳)

今回ご紹介するのは、平上平窪地区の根本大我さんです。

前職は、8年間ファッションブランド企業に勤めていて、その風貌からもセンスの良さがうかがい知る事が出来ます。

代々100年続く日本梨農家の長男として生まれた大我さんですが「7代目としていつかは、自分も後を継ぎ伝統を守る」と心に決めていたそうです。

梨農家を継いで10年、引継いだ当初の圃場は100a、今では150aまで規模拡大しました。大我さんの育てた梨の評価は、玉つぶが大きく糖度も高くジューシーで美味しいとSNSやネットで評判です。

栽培のこだわりを聞くと、「品質第一、梨を育む地力を上げるため稲わらなど自然由来のものを肥料に混ぜ、環境

に優しい栽培方法にこだわっています」との事でした。

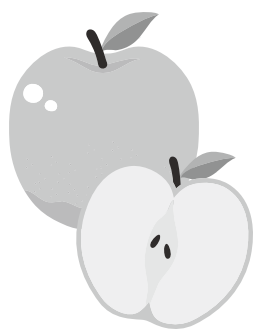
ジェトロのプロジェクトで7年前からベトナムに輸出を始めました。自身もホーチミンに行き対面販売したところ飛ぶように売れていったとのことでした。

「これを皮切りに、他国にもいわき梨の美味しさや生産者の誇りを広めていき、世界で勝負がしたいです」と語気を強める大我さん。

大我さんが今後も地域の先導者としてはもちろんのこと、いわき梨の普及のため益々ご活躍される事をおおいに期待したいと思います。

【販売先】根本果樹園、田舎んぼ、ワンダーファーム、道の駅小名浜

(撮影・執筆 鈴木義直)



## Topics

### 晩秋にたたずむ

### 「くさかりかし」さん

晩秋にたたずむ「かかし」さん、ご苦労様でした。スズメの被害が多いこの場所では、以前爆音機を使っていたましたが、住宅の近くでは苦情が多く、使用ができなくなりました。それで色々試してみたら、「かかし」が一番効果があるようでした。

そこで、登場したのが、草刈り作業をしている。「かかし」です。遠くから見ている方から、「ずーっと草刈りをやっててご苦労だねえ」と言われたそうです。

これからもしっかりとお米を守って働いて下さいね。お願いします。

(撮影・執筆 四家誠)





# 新しい農業委員会委員が 加わりました

欠員が生じていた農業委員会委員が決定し、内田広之いわき市長より  
辞令書が交付されました。



◎交付式

日時 令和7年11月10日(月曜日)午後5時

場所 いわき市役所第3会議室

◎氏名

加茂 直雅(かも なおまさ)

◎任期

令和7年11月10日から令和9年7月7日まで



○交付式の光景

# 農地パトロールを実施しました

農業委員会は、農地法に基づき農地の利用状況調査(農地パトロール)を行っております。

昨年8月から11月にかけては「農地パトロール強化月間」とし、市内を8つの地区に分け、農業委員と農地利用最適化推進委員が合同で次の調査を行いました。

- ① 新規就農者の耕作状況調査
- ② 転用行為の進捗状況調査
- ③ 営農型太陽光発電設備の下部の  
営農状況調査
- ④ 非農地に係る状況調査



○営農型太陽光発電設備の下部の営農状況調査の様子



○非農地に係る状況調査の様子



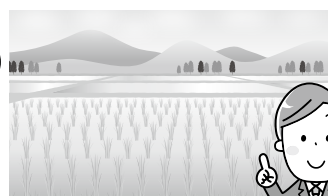
○新規就農者の耕作状況調査の様子

今後は調査の結果に基づき、農業者や地権者へアドバイスなどを行っていきます。

なお、田畑の所有者・耕作者は適正かつ効率的な農地利用を行う責務があります。農地を遊休化させないよう日頃から適正な管理をお願いします。

# 農地流動化情報

Vol.66



農業委員会では、耕作を目的とする農地情報の収集・提供を行っています。売買・貸借等の意向がある方は、是非ご相談下さい。

## 売りたい

No.	農地の所在地	地目	面積 (a)
1	平下高久字原 外1筆 (2筆)	畑	8.42
計 (2筆)			8.42

◎ご覧になって、手続き等の詳細を知りたいという方は、農業委員会事務局までお問い合わせください。  
1月5日 (月) 8時30分から受付開始します。

## 貸したい

No.	農地の所在地	地目	面積 (a)
2	山田町元身取 外2筆 (3筆)	畑	8.42
3	三沢町田島 外1筆 (2筆)	田	48.15
4	平泉崎字馬場 (1筆)	田	8.15
5	小川町関場字高垣 外6筆 (7筆)	田	83.14
6	小川町関場字高垣 (1筆)	田	12.94
計 (14筆)			160.80

お問い合わせ先 農地調査係 ☎0246-22-7574

## ご存じですか？

メリットが多い制度です

# 農業者年金

農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

### 【農業者年金の特徴】

- ①農業だけが加入できる国民年金の上乗せの公的な年金です。
- ②少子高齢時代に強い積立方式・確定拠出型です。
- ③保険料は自分で決められ、いつでも見直しできます。  
(2万円～ 6万7千円の範囲内から千円単位)
- ④終身年金です。80歳前にお亡くなりになった場合、死亡一時金があります。
- ⑤任意脱退が可能です。脱退一時金はありません。
- ⑥保険料は全額社会保険料控除の対象、年金資産の運用益の非課税です。
- ⑦支払った保険料は、加入期間に応じ、任意脱退しても将来支給できる年金額に反映されます。
- ⑧加入後は、国民年金の付加年金 (月額400 円) に加入していただく必要があります。

農業者年金基金の  
シミュレーターで  
受け取り年金額を  
試算ができます！

詳しくは…

**農業者年金基金**  
ホームページ



<https://www.nounen.go.jp/>

農業者年金基金

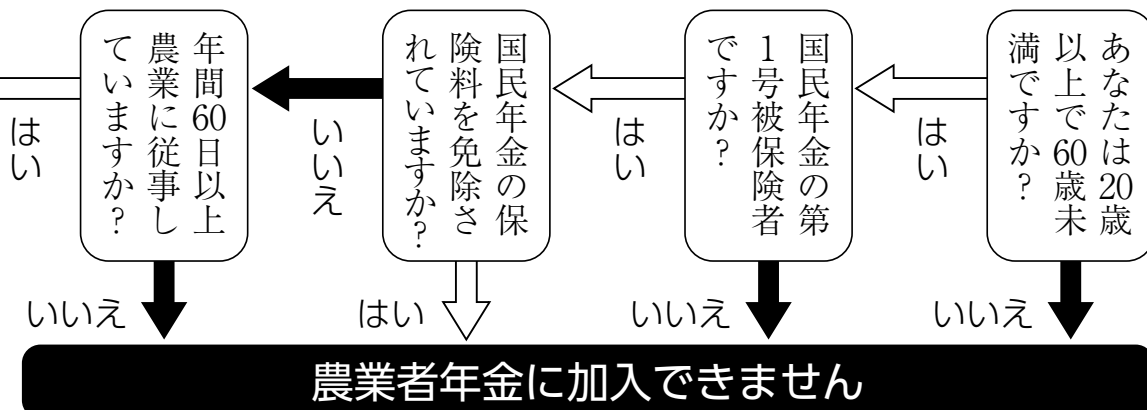
検索

加入しているかどうか問わず、制度や手続きについて、専門相談員に質問や相談ができます。

**専門相談員 03-3502-3199**

※平日午前9時～午後5時まで

**農業者年金に  
加入できます！**



お問い合わせ先 農政振興係 ☎0246-22-7534



## 「水は農の命」、鮫川堰土地改良区 による鮫川水利の確保と維持

常磐・小名浜地区の豊かな農業を支える基盤の一つに、「鮫川堰土地改良区」による鮫川水利の確保があります。鮫川堰土地改良区は昭和27年に組織が整備され、今日に至るまで広域の耕地に自然流下方式で安定した用水を供給し、耕地を潤してきました。

近年は猛暑による蒸発増加や降水の偏りによって、水源の流量低下が課題となりました。こうした中でも夏期の渇水に備え、鮫川堰土地改良区では令和5年度から令和7年度にかけて、水路やトンネルなど施設の「機能診断事業」を行い、水路トンネル内の劣化や崩落の可能性を把握する調査を進めてきました。昨年には地区トンネルの大規模改修が県営事業として採択され、いよいよ今年度から本工事に向けた準備が進められます。また、全国的な気象変動を踏まえ、流域全



体で治水と利水を両立させる「流域治水プロジェクト」が推進されています。いわき建設事務所では令和3年度に協議会を設立し、現在に至るまで複数回にわたって更新・検討を続け、気候変動に強い流域管理体制を構築中です。このように、見過ごされがちな水路・施設の老朽化対策や、気候変化に対応する広域的な治水計画を進行させることが、地域農業と暮らしの安心を守る重要な基盤となっていることは言うまでもありません。

水は農の命。地味でも確実に支え続ける鮫川堰土地改良区の使命に敬意を表しつつ、今年も持続可能な農業と地域の未来を共に考え、次の世代へ繋いで行きたいと思っています。

結びに、本年も「TAGAYASU」いわき市農業委員会だよりをどうぞよろしく願います。

(撮影・執筆 鈴木忠光)

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年も新たな一年が始まりました。表紙の写真は、明るい一年となることを予感しているようです。「水は農の命」という言葉が地区だよりに出てきましたが、そこから発展して考えてみると「農は人の命」です。農が人の命を支えている、という事実は、米や野菜の価格がどんなに変動したとしても変わりませんし、農はこれからも途絶えることなく確実に受け継いでいかなければならないもの。ですが、現状のままでは農業人口が急激に減少していくことは避けられないでしょう。この課題にどのように向き合っていくかが、この先10年の課題と言えると感じています。今回、若手梨農家の根本さんの記事がありましたが、このような若手の方がどんどん農業に取り組めるような風潮を作っていく、その一端をこの農業委員会だよりが作って行けるよう、これからも取材していきたいと気持ちを新たにしました。

(執筆 菅野綾)

#### 編集委員

鈴木義直 委員長・菅野綾 副委員長  
蛭田元起・四家誠・鈴木忠光  
木村義昭・新妻吉人・油座盛明

### 今号の表紙から

「陽はまた昇る」  
福島県いわき沖の洋上に、大型クルーズ船から撮影した日の出の写真です。船内には、レストラン、カフェ、カジノ、歌謡ショー、お風呂等も設置されており、ホテルと同等のイメージでしたが、一つ難点がありました。大型船なので、揺れはないと思っていたのですが、小さな波でも揺れは感じられ、波が荒れれば大きく揺れ動くことです。まさに大小様々に揺れ動く

人生の波を強く感じた次第です。  
昨年は、米の高騰による令和の米騒動という波が発生しましたし、今年も、森羅万象幾多の困難な波が押し寄せるかわかりません。しかし、過去から人々は、大きく揺れながらも、押し寄せる波を乗り越えて来たのです。  
それは、全ての人の心に、陽はまた昇るからだと思っています。

(撮影・執筆 新妻吉人)

